

「こども安全協力の家」対応要領

犯罪等の被害

こどもが助けを求めてきたら

こどもが助けを求めてきたら、まず家屋、店舗等の中に入れて保護し、危険を感じたら入り口の鍵を閉めてください。

まず自分が落ち着く

話を聞く皆さんが慌てたり興奮したりしないよう、まず自分が落ち着いてこどもの話を聞いてあげましょう。

こどもを落ち着かせる

「もう大丈夫だよ。」などとやさしく声をかけて、こどもを落ち着かせてあげることが大切です。

こどもから話を聞く

こどもの話をよく聞いて、警察や学校関係者、家族等がすぐ来ることを説明し、こども達を安心させてあげることが大切です。

関係機関への連絡

- ①犯罪等の被害・不審者対応
→警察へ通報（110番）
→学校・家庭への連絡

- ②交通事故やケガ
→応急的な対応
→必要に応じて119番通報
→学校・家庭への連絡

左記以外

こどもが助けを求めてきたら

(助けを求めてくる例)

- ・トイレの借用や飲水
- ・体調不良
- ・雨や雷など天気の急変
- ・自転車のパンク
- ・その他

こどもから話を聞く

こどもの話をよく聞き、何がしてほしいのか確認をお願いします。

関係機関への連絡

- ・応急的な対応
- ・必要に応じて学校や家庭に連絡

《110番(警察)・119番(救急車)への連絡の仕方》

1 警察へ連絡する場合

- ①「こども安全協力の家」の事業者名（ ） 氏名（ ）
不審者に（ ）をされそうになったこどもを保護しています。
- ②事業所等の所在地（近くの目標物）・電話番号
- ③何があったのか（触られた、追いかけられた、露出していた、車にはねられた・・・）
- ④相手の確認
 - ・特徴（人相、性別、年齢、体格、服装、持ち物 等）
 - ・交通手段（徒歩、自転車、バイク、車 等）
 - ・交通手段の特徴（色、型、車種、ナンバー、同乗者の有無 等）および逃走方向

2 消防へ連絡する場合

- ①けが人（病人）がいるので、救急車をお願いします。
- ②けが人の状況を伝える（年齢、性別、けが等の状況）
- ③事業所等の所在地（近くの目的物）・事業者名（ ） 氏名（ ）